

平成 29 年 6 月 22 日

平成 29 年度 燕三条地域向上人材育成事業

燕三条 工場の祭典 実行委員会
実行委員長 武田修美

概要

燕三条地域は、燕三条 工場の祭典をはじめとした「知る機会」をきっかけとして、多くの来訪者が訪れるようになりました。それにより様々な良きことを地域にもたらせている一方で、大切な機会を逃さないだろうかという懸念点が生まれてきているのも事実です。目先の利益ではなく、企業にとって、地域にとって中長期的に友好的な関係が築けるようなお客様（ニッチでディープなファン）を、一年を通し、持て余すことなく、然るべきご案内、ご対応ができるような地域に育たなければならないと考えています。

そのため、ものづくりにおいて、地域の歴史や文化に沿った知識と経験、それらによって得た伝える力を駆使し、ものがつくられるずっと前から、つくる瞬間、そしてつくられた後、それらが地域に根付き、次の時代を創るところまでを示唆した取り組み、地域全体を向上させることのできる人材育成事業を始めます。

ものづくりの聖地としての志を持ち、気高き職人たちに守られ、類稀なる歴史に支えられるこの町に生きている自覚を持ち、この尊くも儂い現実を心から敬い、幾年先も繋いでいくという意志を育み続ける努力をする者同士、切磋琢磨するための機会と場所を創る、地域の成長にとって中核的な事業となります。

「燕三条は、一年中、工場で人を繋げる」

■募集概要

燕三条地域にとって、地域のものづくりにとって、地域の企業にとって、あらゆる向上をもたらすことのできる候補生を募集いたします。

- ・ 燕三条地域に在住で、もっと地域に根付いた仕事をしたい人
- ・ 燕三条地域に勤務し、もっと地域全体を盛り上げたい人
- ・ これから燕三条地域への移住を踏まえた就職を考えている学生
- ・ これから県外へ出るもののいつか燕三条に戻りたい学生 など

以上のような方々に対し、募集します。この事業では、現在燕三条地域を中心に活躍し成長をつづける面々を講師陣に迎え、ルーツ、クリエイティブ、アイテム、ソリューションの4つの分野に分け、座学と実践を繰り返す、実践型育成事業を予定しています。

本事業は、あくまで単年度事業ではあるものの、各々の成長により継続性のある取り組みに進化することが望ましいと考えるため、事業完了後についても、継続して燕三条地域にて活動ができるよう協力体制（継続事業の検討、講師陣からや地域企業からのフォロー）を整える一方、燕三条地域での新たな活動拠点創造計画（※1）にて活動する、燕三条コンシェルジュ認定制度（※2）も含め、進行していく予定です。

※1 新たな活動拠点創造計画について

燕三条地域中心地に、燕三条地域のコンシェルジュとして活動するための拠点を新しく作る計画となります。候補地、完成日、機能、イメージなどは決定し次第お知らせ致します。

※2 燕三条コンシェルジュ認定制度（仮）について：

第9回までの座学と実践を全うし、燕三条コンシェルジュとしての活動提案を提出、認可された方は、新しく設置される活動拠点にて、事業で得た知識と経験値をもとに認定コンシェルジュとして活動、実践を繰り返していただきます。認定方法、雇用期間、体制、内容は決定し次第、お知らせ致します。

■応募内容

募集定員：5名程度

参加資格：18歳～35歳以下、普通運転免許取得者

参加条件：

- ・可能な限り全日程を受講できる方
 - ・将来的に燕三条地域での活動に従事する意向のある方
 - ・参加後、必ず地域の向上に繋がる行動がとれる方
- ※学生、社会人、県内外勤務、在住は問いません

参加費用：一般 30,000円／全10回

学生 10,000円／全10回

※欠席の場合でも1回毎の返金不可

※移動に掛かる交通費等は全て自己負担

主な受講内容：

- ・燕三条地域のものづくりにまつわる歴史、伝統、文化とは
- ・燕三条地域のものづくりにまつわる産業、技術、製品とは
- ・燕三条地域のものづくりにまつわる出来事、イベント
及び、それらに関する地域資源（工場、食、店、宿、移動手段）とは
- ・これからの燕三条地域のものづくりに欠かせない心意気、志とは
- ・これからの燕三条地域のものづくりに欠かせない案内、対応とは
- ・これからの燕三条地域のものづくりに欠かせない機転、応用とは
- ・これからの燕三条地域のものづくりに欠かせない提案、発想とは など

募集期間：6月22日（木）募集開始、6月30日（金）申し込み締め切り

申込先：「燕三条 工場の祭典」実行委員会 事務局

（公財）燕三条地場産業振興センター 産業振興部 燕三条ブランド推進課 行

E-mail：kouba-fes@tsjiba.or.jp

Fax：0256-32-5701

■事業実施内容（予定）

第1回 「燕三条を知る（ルーツ編）」座学 7月11日（火）19:00～21:00

第2回 「燕三条を巡る（ルーツ編）」実践 7月25日（火）10:00～12:00

見学だけして帰る…そんな一度っきりの観光で終わらせない。工場、土地、地理、そして歴史を巡ることで視えて来る世界観で、燕三条の魅力を伝え、一人では気づけなかった興味と見聞を広げる地域のアテンダントに。

講師：大澤真輝氏、齋藤優介氏

第3回 「燕三条を知る（クリエイティブ編）」座学 8月15日（火）19:00～21:00

第4回 「燕三条で創る（クリエイティブ編）」実践 8月29日（火）10:00～12:00

作れるか知りたい…そんな表層的な解決だけで終わらせない。ものづくりの根底（技術や素材の相性、使われ方、利点など）から燕三条を支え、世代を超えて時代にあった産業と信頼を創り出す地域のコーディネーターに。

講師：捧一弘氏、武田修美

第5回 「燕三条を知る（アイテム編）」座学 9月5日（火）19:00～21:00

第6回 「燕三条を調べる（アイテム編）」実践 9月19日（火）10:00～12:00

話題の商品を買う…そんな目先の満足だけで終わらせない。一つの製品が作られた背景から工程、そして広がりまでを隈なく伝え、燕三条にとって一生涯のファンを生み出す地域のソムリエに。

講師：澁谷一真氏、山田立氏

第7回 「燕三条を知る（ホスピタリティ編）」座学 10月3日（火）19:00～21:00

第8回 「燕三条を伝える（ホスピタリティ編）」実践 10月5日～8日

第9回 「燕三条を知る（ソリューション編）」座学 11月7日（火）19:00～21:00

最終回 「燕三条で営む（ソリューション編）」実践 1月～3月

機会があれば活かしたい…そんな小さな魅力で終わらせない。作れる町、作り手、そして語り手が一つとなり、毅然とした姿勢と、愛情をもって伝える。新しい価値創造のきっかけを繋ぎ、燕三条の可能性を倍増させる地域のコンシェルジュに。

第7回ゲスト講師：阿部佳氏

講師：能勢直征氏、武田修美

■各回の内容

第1回 「燕三条を知る（ルーツ編）」

内容：現在に至るまでの「燕三条」産業地域としての成り立ちを知る2時間。なぜ金属産業が盛んな地域となったのか、ものづくりのルーツを生活や土地から読み取り現代に繋いでいきます。そして近年の産業の繋がり、時代に淘汰されない工場事情を学びます。

第2回 「燕三条を巡る（ルーツ編）」

内容：上記で得た知識をもとに、工場や地域を見学。その後各自宿題としてストーリーマップを作成し、自らの理解度を確かめるべく、伝える難しさと大切さを習得します。これを軸として第8回実践内容をこなしていただきます。

第3回 「燕三条を知る（クリエイティブ編）」

内容：第1回の知識を踏まえ、燕三条地域に根付いたものづくりの製法背景から技術力、そしてそれらの生かし方までを知る2時間。古くから続く伝統的なものづくりはどう変化し、現代にどう活用され、はたまた今もどう生きているのか、世界を支えるものづくり事情を学びます。

第4回 「燕三条で創る（クリエイティブ編）」

内容：上記で得た知識をもとに、現場見学。その後各自宿題としてものづくりデータ集を作成し、誰に何をどう伝えたらものを作る際の役に立つのかを習得します。これを軸として第8回実践内容をこなしていただきます。

第5回 「燕三条を知る（アイテム編）」

内容：第3回の知識を踏まえ、燕三条地域に多く存在する製品メーカー、ブランドを知る2時間。なぜこの企業はこのブランドを作ったのか、この製品を作ったのか、それぞれが歴史と時代に向き合ったものづくりの軌跡とも言える製品事情を学びます。

第6回 「燕三条を調べる（アイテム編）」

内容：上記で得た知識をもとに、企業や販売施設見学。その後各自宿題として製品マトリクスを作成し、散らばる情報をまとめ、受け取りやすい上質な伝達方法を習得します。これを軸として第8回実践内容をこなしていただきます。

第7回 「燕三条を知る（ホスピタリティ編）」

内容：第5回までの知識をしっかりと活かして伝えていくためのホスピタリティを身につける2時間。なぜこの地域にまた来たい、何かを託したいと思うのか、知識だけに頼らない直向きな姿勢と愛情に裏付けられたコミュニケーションを学びます。

第8回 「燕三条を伝える（ホスピタリティ編）」

内容：上記までで得てきた知識を全て活用し「燕三条 工場の祭典」にて実践（各所インフォメーションにて対応を予定）。その後各自宿題としておもてなしの手引きを作成し、燕三条地域の魅力に納得ではなく満足していただけるコミュニケーション能力を習得します。ここまでを軸として最終回の実践内容をこなしていただきます。

第9回 「燕三条を知る（ソリューション編）」

内容：第8回までを振り返り、改めてこれから何が燕三条地域に必要なのかを見つけ出す2時間。ものづくり大国日本が世界のものづくりを支える一つの地域として、発展と進化を続けるために、燕三条地域にはどんな仕事、どんな働き方が求められているか、それらを形にし、実現する方法論を学びます。

最終回 「燕三条で営む（ソリューション編）」

内容：ここまでを通して学び、習得し、実践してきた内容を全て引き出したビジネスモデルを期間内に作成し、形にとらわれず、言い訳をせず、自ら方法を導き出し実践（燕三条コンシェルジュとしての活動内容の提案、企業への就職活動、起業活動、企業や団体とのタイアップによる活動など）していただきます。

※なお、成果発表などは予定しておりせん。本事業は実践することが前提となりますので全ては皆様が実践する内容や行動のみを評価とし卒業の証と致します。

ゲスト講師紹介

阿部佳：慶應義塾大学卒業後、一般企業勤務を経て、1992年にヨコハマ グランド インターコンチネンタルホテルにコンシェルジュとして入社。1997年に世界の一流コンシェルジュたちの組織「レ・クレドール」国際正会員。2003年にグランド ハイアット 東京に入社して以来、チーフコンシェルジュとして活躍。著書に『わたしはコンシェルジュ』（講談社）、『お客様の“気持ち”を読みとく仕事コンシェルジュ』（秀和システム）。

講師紹介

大澤真輝：庖丁工房タダフサ番頭。都内の印刷会社にてコピーライターとして勤務後、NPO 法人グリーンバードの活動に参加、活動の全国展開や団体の運営などを担当。U ターン後、現在の庖丁工房タダフサ入社。第五回燕三条工場の祭典副実行委員長及び広報部会長を務める。

齋藤優介：燕市観光協会産業観光推進係長。燕市産業史料館にて学芸員として勤務。現在は燕市観光協会にて、燕三条産業史において、産業の歴史にとどまらず地形や水脈から燕三条の成り立ちを伝え、JR 東日本の豪華寝台列車「トランスイート四季島」の新潟県ガイドを務める。

捧一弘：日本洋食器株式会社 食器部・器物部・開発部課長、品質管理責任者。日立製作所を経て、日本精機で製造全般に関わる。その後、現在の日本洋食器株式会社へ入社。洋食器工業組合と「カトラリー検定」を創設、現在も副実行委員長を担う。第五回燕三条工場の祭典学生・ツアー一部会員を務める。

澁谷一真：三条市経済部商工課主任。経済産業省へ出向後、再び三条市役所へ戻り、燕三条工場の祭典発起時から事務統括を務める。燕三条の職人の世界観に魅了され、その後、燕三条が舞台となる小説「包丁の裏側」を出版。

山田立：株式会社玉川堂番頭。百貨店勤務を経て玉川堂へ入社。職人としてではなく、伝える立場として玉川堂の発展に貢献する。第四回「燕三条工場の祭典」実行委員長を務める。

能勢直征：永塚製作所社長。有名ホテル支配人を経て妻の実家の永塚製作所の後継者として入社後、自社商品のゴミ拾いトングを活用したゴミ拾いイベントが多岐にわたり活躍を広げ、2016 年社長に就任。第三回「燕三条工場の祭典」実行委員長を務める。

武田修美：MGNET 代表取締役。自動車メーカー営業を経験後、家業となる武田金型製作所へ入社。技術を伝える役目として製品開発や企画、販売に携わる。その後事業拡大とともに MGNET 設立、事業の多角化を進める。第五回「燕三条工場の祭典」実行委員長を務める。